

三宅島

概況（平成14年 4 月）

小規模な噴火が 2 日に 1 回、3 日に 1 回、16 日に 1 回発生しました。

山頂直下の地震活動は低い状態で、振幅の小さな火山性微動が発生しましたが、火山活動に大きな変化はありませんでした。また、三宅島の収縮を示す地殻変動は、長期的には鈍化傾向にあります。

以上のことから、火山活動は全体として低下傾向にありますが、今後も小規模な噴火は発生する可能性があります。

山頂火口からの二酸化硫黄の放出量は、長期的には減少傾向にありますが、依然として高い値です。風下では引き続き火山ガスに対する警戒が必要です。また、雨による泥流にも引き続き注意が必要です。

火山ガス噴出活動の状況

4、10、18日に実施した二酸化硫黄の放出量の観測*では、日量約4,000～8,000トンと依然多量の火山ガスの放出が続きました。

*陸上自衛隊、警視庁、東京消防庁、海上保安庁の協力による。

噴煙活動の状況

依然として活発な状態が続いています。

3 回の小規模な噴火が発生しました（詳細は下表）。

白色噴煙は連続的に噴出しており、高さの最高は火口上 1,000m（10 日）でした。

噴火日時	噴煙の色	噴煙の高さ (火口上)	噴煙の流 れた方向	備 考
2 日 10 時 02 分	灰白色	300m	東	
3 日 10 時 39 分	灰白色	200m	北東	
16 日 06 時頃	雲のため不明			島の北東部で微量の降灰を確認

地震活動状況

山頂直下の地震活動は低い状態でした。

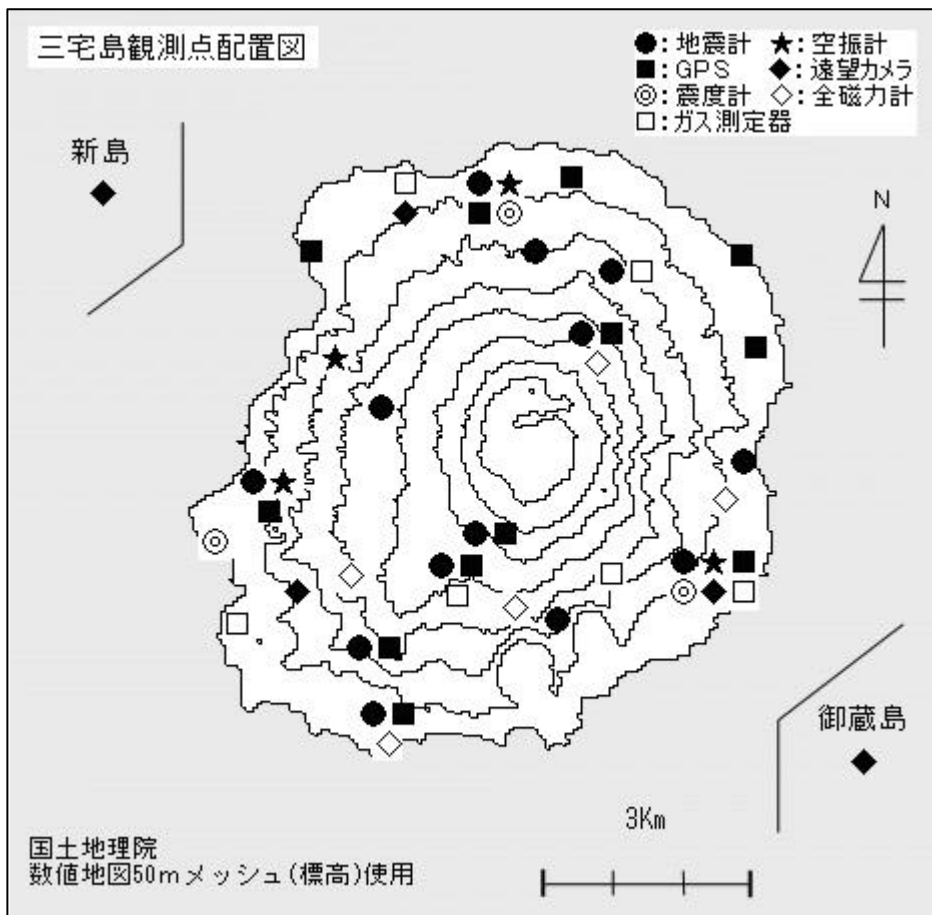
小規模な噴火が発生した 2 日と 16 日は微動が増えましたが、その他の日は落ち着いた状態でした。

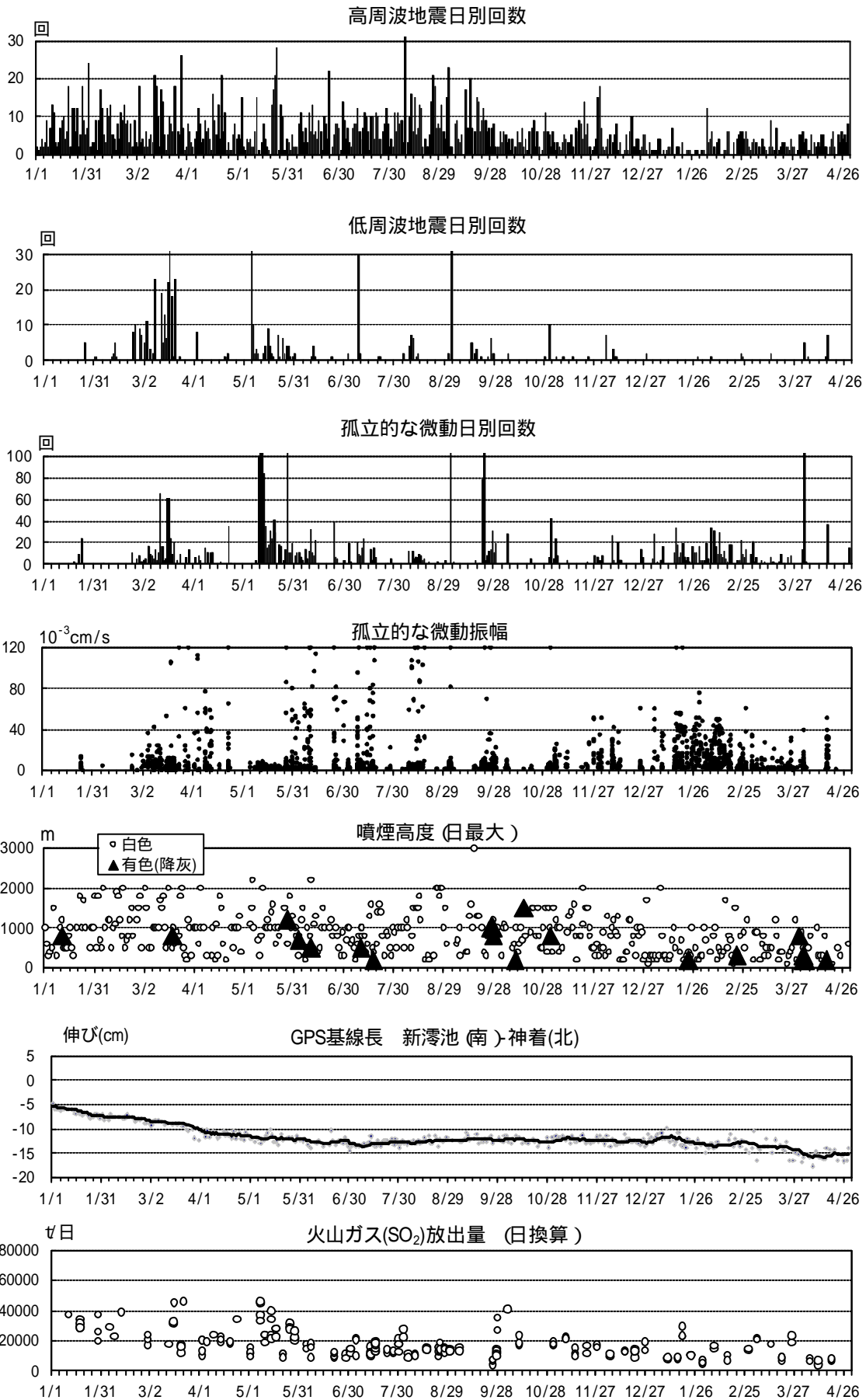
地殻変動の状況

GPSによる地殻変動観測によると、三宅島の収縮を示す地殻変動は、長期的には鈍化傾向にあります。

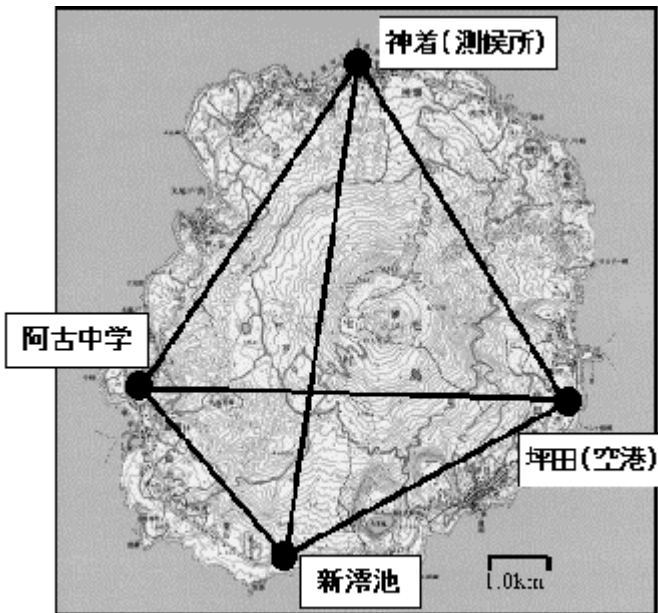
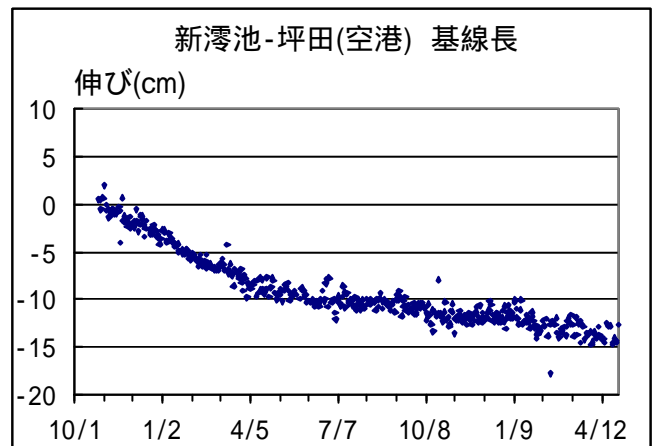
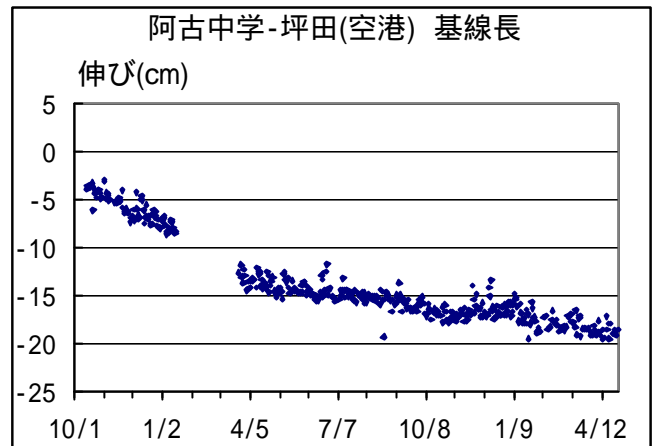
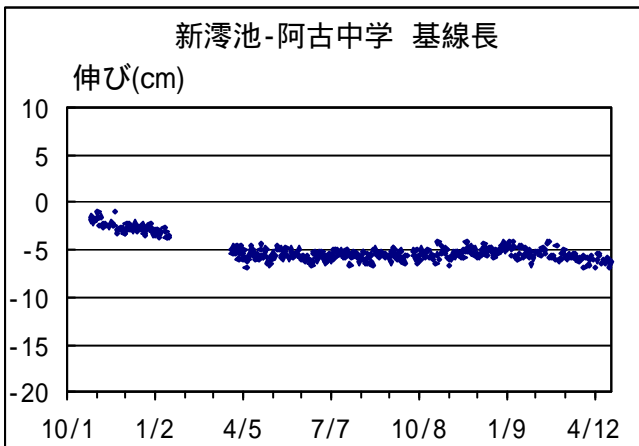
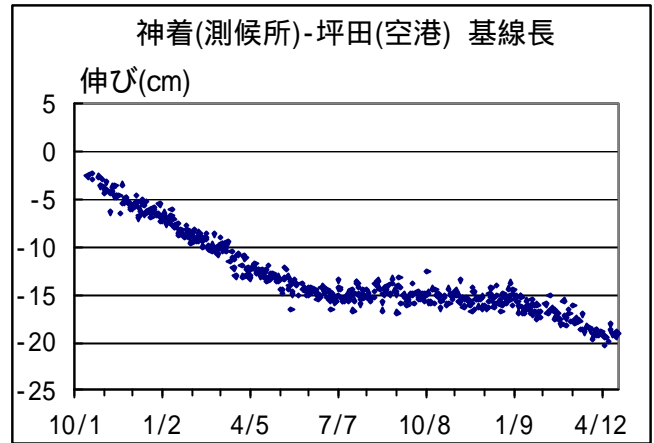
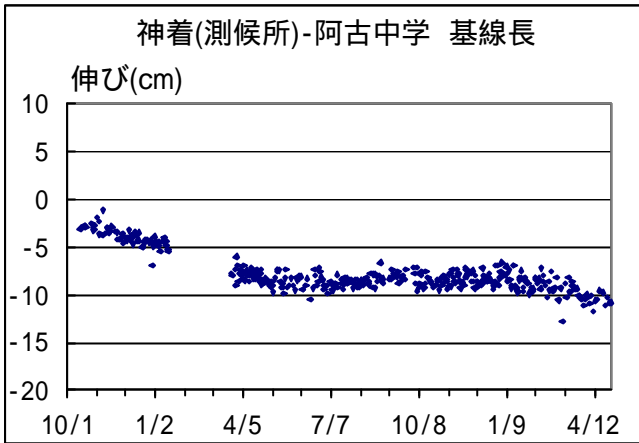
火山性地震・微動日別回数表(三宅島)

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	旬計	
高周波地震	5	6	3	4	1	1	5	0	3	2	30	
低周波地震	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	6	
微動	13	174	2	0	0	0	0	0	0	0	189	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	旬計	
高周波地震	3	2	5	5	2	2	0	2	4	6	31	
低周波地震	0	0	0	0	1	7	0	0	0	0	8	
微動	0	0	0	0	1	37	0	0	0	0	38	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	旬計	月計
高周波地震	2	0	5	3	6	4	5	3	8	7	43	104
低周波地震	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
微動	1	0	0	0	0	1	0	0	15	0	17	244

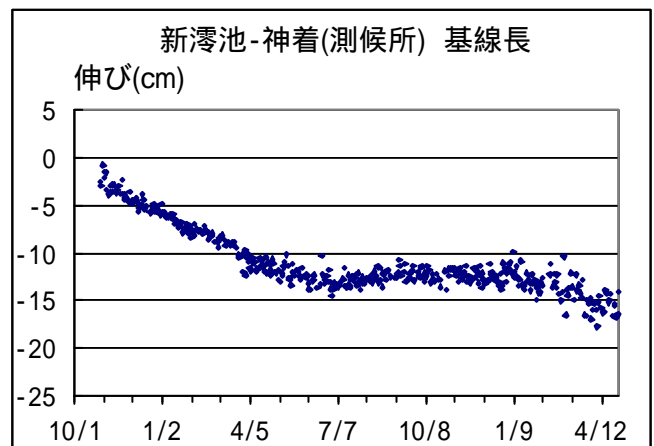




三宅島火山活動経過図(2001年1月1日~2002年4月30日)



気象庁GPS観測点配置図



三宅島GPS観測結果(2000年10月1日~2002年4月30日)